

豊後大野市 市制施行10周年記念特別展示

趣味人 朝倉文夫の愛蔵品展

台東区立朝倉彫塑館所蔵 根付・ガラス・竹工芸品・茶道具など

平成27年

9月19日(土)～11月8日(日)

朝倉文夫記念館



【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日) 【開館時間】 午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)

【入館料】 大人500円、小中高生200円(通常の朝倉記念館入館料金)

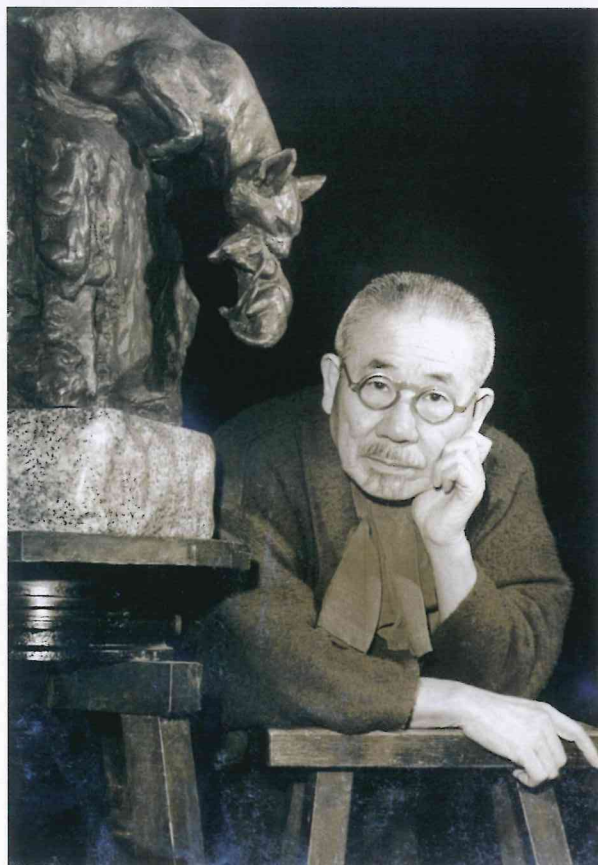
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1人は無料(入館時に受付で手帳を提示してください)

【主催】 豊後大野市 朝倉文夫記念館

【協力】 台東区立朝倉彫塑館

【後援】 大分県芸術文化祭実行委員会、大分県芸術文化振興会議、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

写真中央：白地藍被漁労文鼻煙壺 左上：白竹投入華籠(生野祥雲齋) 右上：白地紅被蓮池鶯鯉文鼻煙壺
右下：薩摩切子藍色被香水瓶 左下：ブルネイ風景 海の家(朝倉文夫) いずれも台東区立朝倉彫塑館所蔵



日本の近代彫塑の基礎を築いた朝倉文夫（1883～1964）は、現在の大分県豊後大野市朝地町に生まれました。「墓守」（2001年石膏原型が国の重要文化財指定）をはじめとする「自然主義的写実」を作风とした具象彫刻で知られ、数多くの著名な作品を残しました。また、朝倉彫塑塾を開くなど、後進の育成にも尽力し、1948年には、彫刻界でも、大分県でも初めての文化勲章を受章しました。

また、朝倉は制作のかたわら、俳句、釣り、東洋蘭の栽培、活花、書画、茶道など幅広い趣味の分野に親しみ、さらに、ガラス器、竹工芸品、陶磁器、根付など、直接手にして愛玩できる触覚に訴えるものを好み、職人の手技を尊敬しつつ、独自の審美眼のもと、それらを蒐集しました。このうち、特に、ガラス器については、まだ美術工芸品としての評価を得ていない頃から集め始め、対象は、薩摩切子、江戸切子、中国乾隆ガラスを中心としてボヘミアなど西欧のものにまで及び、その数は数百点に達するほどでした。現在その大部分はサントリー美術館の所蔵品となっています。

本展では、豊後大野市制施行10周年を記念して、台東区立朝倉彫塑館が所蔵する朝倉の数多くの美術工芸品コレクションの中から、ガラス器、根付、竹工芸品、茶道具、陶磁器、釣り具、朝倉が描いた俳画、油彩画等48点を展示し、そのこだわりの趣味の世界を紹介いたします。

朝倉文夫の彫塑作品とともに、趣味人としての朝倉の側面をぜひご覧ください。



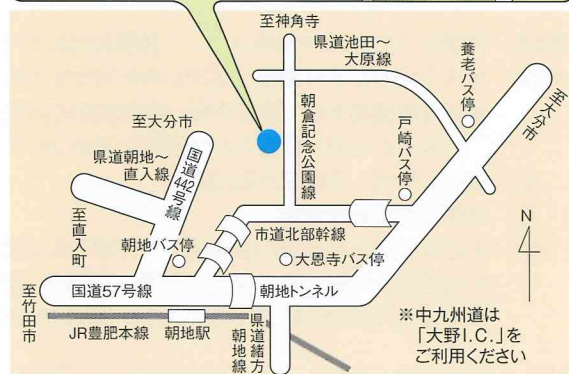
白地二色被松竹梅文鼻煙壺



俳画色紙（梅）

【関連事業】

- ・茶会 9月19日（土） 10:00～
- ・ギャラリートーク 10月12日（月・祝） 14:00～
台東区立朝倉彫塑館学芸員 戸張泰子氏による作品解説
- ・いけばなワークショップ 10月18日（日） 10:00～



Fumio Asakura Museum of Sculpture
朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11
TEL.0974-72-1300 FAX.0974-72-1302

URL <http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/asakura/>

※中九州道は「大野I.C.」をご利用ください